

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和8年第3週(ARIのみ第2週)の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。  
 3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。  
 5類感染症：クリプトスボリジウム症1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類 結核	結核	宮崎市	60歳代	男	疑似症患者	発熱、その他
			70歳代	男	肺結核	痰
		日向	70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、その他
5類 クリプトスボリジウム症	クリプトスボリジウム症	宮崎市	20歳代	男	—	腹痛、下痢、発熱
	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	90歳代	女	—	発熱、肺炎、菌血症
5類 梅毒	梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳
		都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,128人(定点当たり48.3)で、前週比93%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。また、第2週の急性呼吸器感染症の報告総数は2,011人(定点当たり71.8)で、前週比124%と増加した。

#### 【インフルエンザ】

報告数は861人(30.8)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(50.9)の約0.6倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

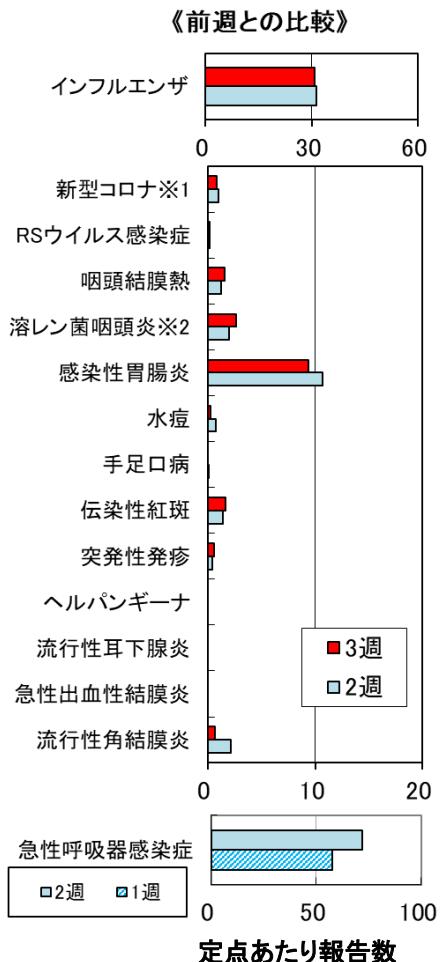
#### 【伝染性紅斑】

報告数は24人(1.6)で、前週比114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.56)の約2.9倍であった。年齢群別は6歳から7歳が全体の約4割を占めた。

#### 【咽頭結膜熱】

報告数は23人(1.5)で、前週比121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.59)の約2.6倍であった。年齢群別は6カ月から1歳が全体の約3割を占めた。

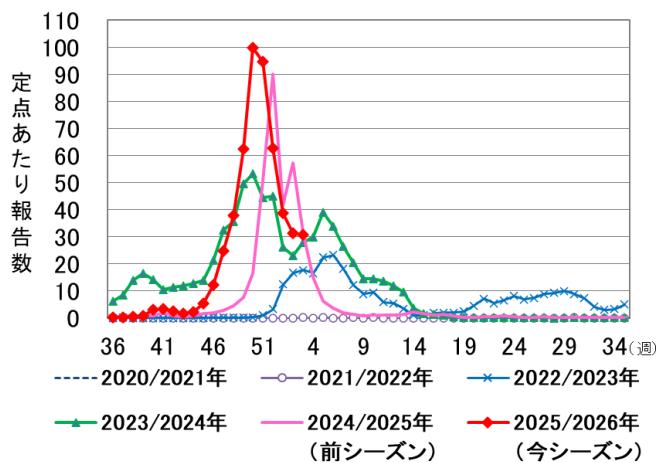
\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



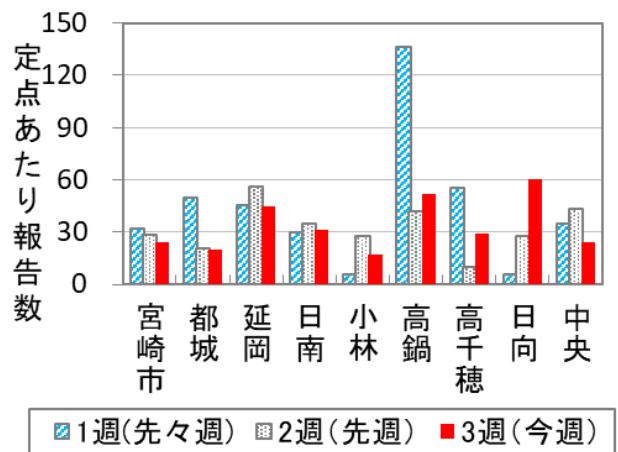
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

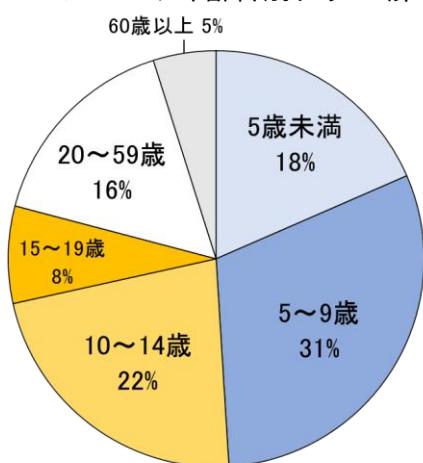
## インフルエンザ 発生状況



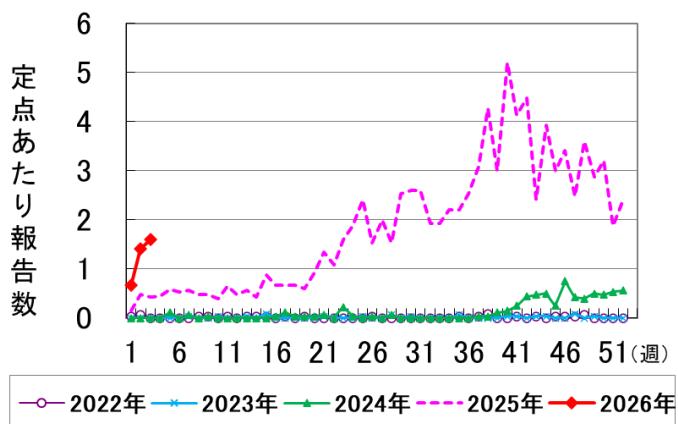
## インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



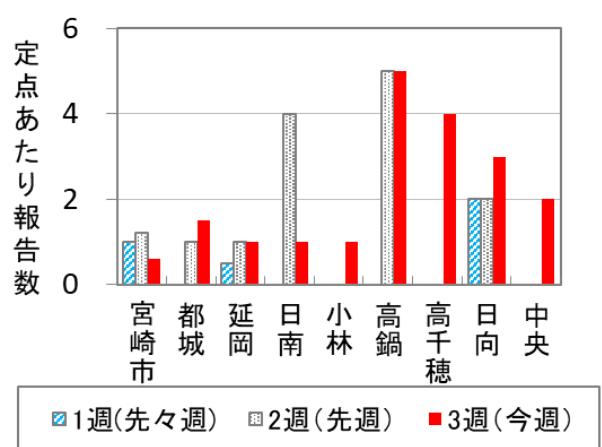
## インフルエンザ年齢群別グラフ(第3週)

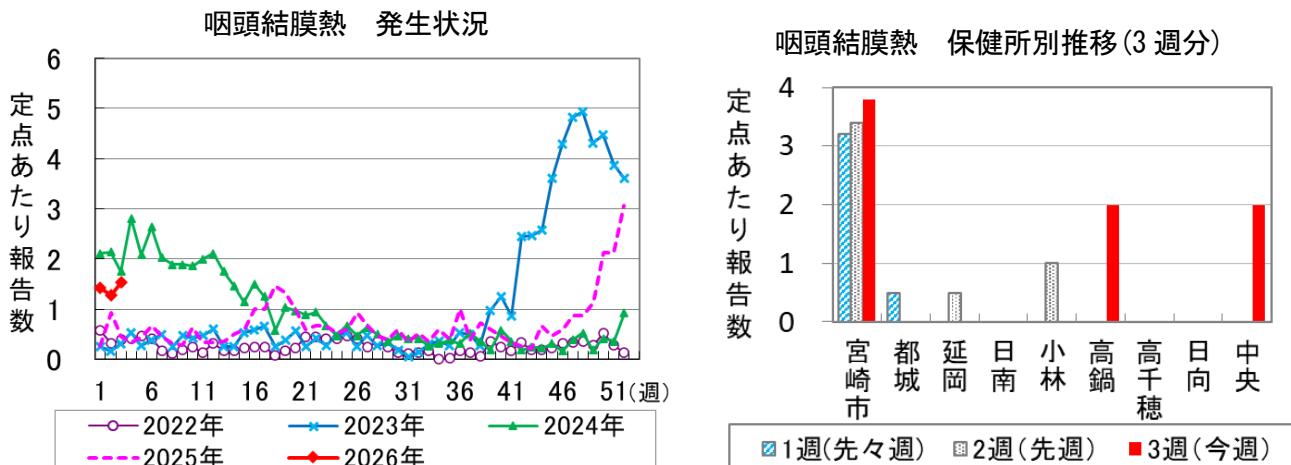


## 伝染性紅斑 発生状況



## 伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)





※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

★基幹定点からの報告★ 報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(24.3)、咽頭結膜熱(3.8)
都城	インフルエンザ(20.0)
延岡	インフルエンザ(45.0)
日南	インフルエンザ(31.5)、水痘(2.0)
小林	インフルエンザ(17.0)、感染性胃腸炎(24.0)
高鍋	インフルエンザ(52.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、伝染性紅斑(5.0)
高千穂	インフルエンザ(29.0)、伝染性紅斑(4.0)
日向	インフルエンザ(60.0)、感染性胃腸炎(24.0)、伝染性紅斑(3.0)
中央	インフルエンザ(24.0)、伝染性紅斑(2.0)

#### \* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

#### \* 流行注意報レベル基準値\*

- ・インフルエンザ(10)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

## □病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)

(2026年第2週:1月5日～1月11日搬入分)

検出病原体	検出数
インフルエンザウイルス	A型 AH1pdm09 0
	AH3 5
	B型 ピクトリア系統 2
	山形系統 0
新型コロナウイルス	0
RSウイルス	A型 0
	B型 0
パラインフルエンザウイルス	1型 0
	2型 0
	3型 0
	4型 0
ヒトメタニューモウイルス	0
ライノウイルス	1
エンテロウイルス	0
アデノウイルス	0
検出せず <sup>※2</sup>	7
受付検体数	15

○ 急性呼吸器感染症(ARI) <sup>※1</sup>サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※ 1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※ 2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 1 月 19 日までに検出分)

★細菌 報告なし

### ★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Cytomegalovirus	0～4歳	女	2025.11.20	突発性発疹、40°C、紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.01.09
Epstein-Barr virus	5～9歳	女	2025.12.01	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.01.09
Rotavirus A G8	5～9歳	女	2025.12.22	ロタウイルス感染症、胃腸炎、38.8°C、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛、頭痛	便	2026.01.19
Rhinovirus	0～4歳	男	2025.12.25	感染性胃腸炎、下痢	便	2026.01.19
Sapovirus						2026.01.19
Rotavirus A G8	5～9歳	男	2026.01.06	感染性胃腸炎(ロタウイルス)、38.6°C、下痢、嘔気、嘔吐、腹痛	便	2026.01.19
Adenovirus 1	0～4歳	男	2025.11.04	咽頭炎、38.0°C	鼻汁	2026.01.09
Influenza virus A H3*	40歳代	女	2025.11.25	インフルエンザA、38.0°C、頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.12.24
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.11.25	インフルエンザA、38.2°C、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.12.24
Influenza virus A H3*	40歳代	女	2025.11.27	インフルエンザA、38.8°C、関節痛、咳、鼻汁、悪寒	鼻腔ぬぐい液	2025.12.24
Influenza virus A H3*	30歳代	男	2025.12.02	インフルエンザA、39.4°C、咽頭痛、頭痛、咳、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2025.12.24
Influenza virus A H3*	40歳代	男	2025.12.02	インフルエンザA、頭痛、筋肉痛、関節痛、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.01	インフルエンザA、40.0°C、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	0～4歳	男	2025.12.01	インフルエンザA、39.2°C、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	60歳代	不明	2025.12.02	急性気管支炎、37.2°C、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	50歳代	女	2025.12.02	インフルエンザA、38.6°C、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	30歳代	男	2025.12.09	インフルエンザA、39.5°C、熱性けいれん、筋肉痛、関節痛	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	60歳代	男	2025.12.09	インフルエンザA、38.6°C、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.08	インフルエンザA、39.4°C、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	5～9歳	男	2025.12.08	インフルエンザA、38.5°C、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	5～9歳	男	2025.12.08	インフルエンザA、38.9°C、咽頭痛	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.08	インフルエンザA、39.0°C、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	5～9歳	男	2025.12.08	インフルエンザA、40.0°C、頭痛、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2026.01.07
Influenza virus A H3*	10歳代	女	2025.12.09	インフルエンザA、38.9°C、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	10歳代	男	2025.12.09	インフルエンザA、38.2°C、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.07
Influenza virus A H3*	40歳代	女	2025.12.16	インフルエンザA、40.0°C、鼻汁、痰	鼻腔ぬぐい液	2026.01.15
Influenza virus A H3*	20歳代	女	2025.12.16	インフルエンザA、37.4°C、咳、痰	鼻腔ぬぐい液	2026.01.15
Influenza virus A H3*	60歳代	男	2025.12.16	インフルエンザA、38.5°C、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.15
Influenza virus B (Victoria Lineage)	20歳代	女	2025.12.16	インフルエンザB、38.0°C、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.01.15

\* ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

## + 全国 2026 年第 2 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核		216 例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症		35 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	2 例	エムポックス
	つつが虫病	7 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱
	レジオネラ症	43 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クリプトスポリジウム症
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	35 例	後天性免疫不全症候群
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性髄膜炎菌感染症
	侵襲性肺炎球菌感染症	61 例	水痘(入院例)	22 例	梅毒
	播種性クリプトコックス症	4 例	破傷風	2 例	パンコマイシン耐性腸球菌感染症
	百日咳	283 例			

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 148%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した疾患はなかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 183%と増加した。

インフルエンザの報告数は 39,996 人(10.5)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(24.4)の約 0.4 倍であった。宮崎県(31.3)、鹿児島県(23.5)、高知県(20.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 852 人(0.37)で前週比 336%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.41)の約 0.9 倍であった。鹿児島県(2.1)、熊本県(1.4)、愛媛県(1.4)、宮崎県(1.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 650 人(0.28)で前週比 215%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.33)の約 0.9 倍であった。宮崎県(1.3)、島根県(1.1)、鹿児島県(0.84)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015–2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

## 宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第03週(01月12日～01月18日)

疾病名	第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	877	861	219	80	135	63	34	104	58	120
	定点当り	31.32	30.75	24.33	20.00	45.00	31.50	17.00	52.00	29.00	60.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	28	22	4	4	4		2	5		3
	定点当り	1.00	0.79	0.44	1.00	1.33	0.00	0.00	1.00	2.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	2	2				1			1	
	定点当り	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	23	19				2			2
	定点当り	1.27	1.53	3.80	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	29	39	14	8	6	2		8		1
	定点当り	1.93	2.60	2.80	4.00	3.00	2.00	0.00	8.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	160	141	36	11	29	2	24	9	5	24
	定点当り	10.67	9.40	7.20	5.50	14.50	2.00	24.00	9.00	5.00	24.00
水 痘	報告数	11	4	1	1		2				
	定点当り	0.73	0.27	0.20	0.50	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1									
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	21	24	3	3	2	1	1	5	4	3
	定点当り	1.40	1.60	0.60	1.50	1.00	1.00	1.00	5.00	4.00	3.00
突発性発しん	報告数	6	8	3		1	1	2			1
	定点当り	0.40	0.53	0.60	0.00	0.50	1.00	2.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	13	4		2	2					
	定点当り	2.17	0.67	0.00	1.00	2.00					
細菌性皰膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性皰膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	4									
	定点当り	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2									
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2026年 第02週(01月05日～01月11日)

	第01週	第02週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	1388	2011	534	243	346	123	118	147	62	224
	定点当り	57.83	71.82	59.33	60.75	115.33	61.50	59.00	73.50	31.00	112.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

## ●全数把握対象疾患累積報告数 (2026年 第01週～03週 保健所受理分)

2類感染症	結核	6例(3)									
4類感染症	つつが虫病	1例									
5類感染症	クリプトスボリジウム症	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	2例(1)	梅毒						
	百日咳	3例									

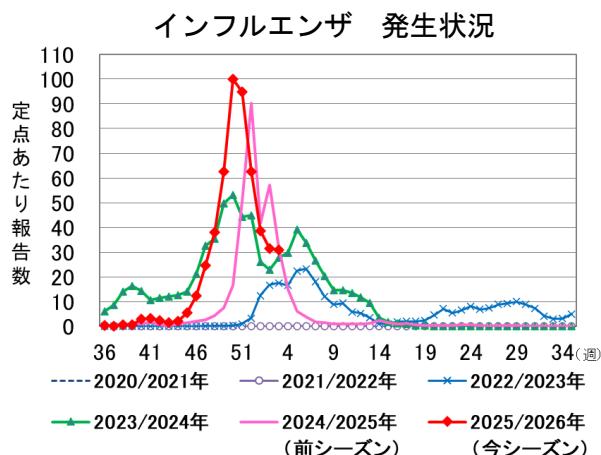
( )内は今週届出分、再掲

## ■ インフルエンザ情報《県内第3週、全国第2週（再掲）》

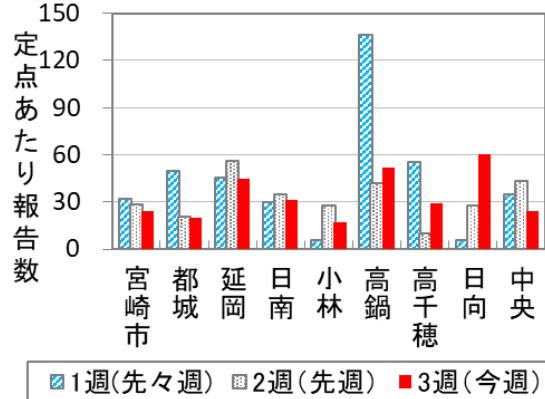
### □ 県内第3週インフルエンザ発生動向

1月12日～18日までの1週間では861人(30.8)の報告があった。前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(50.9)の約0.6倍であった。

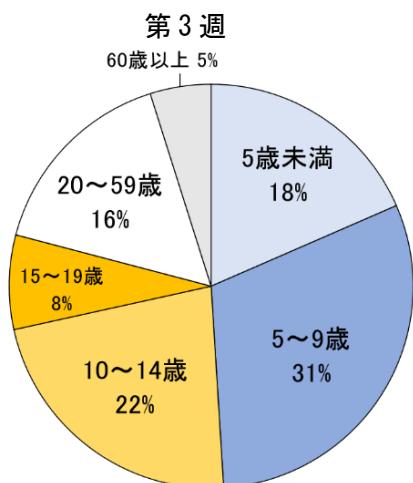
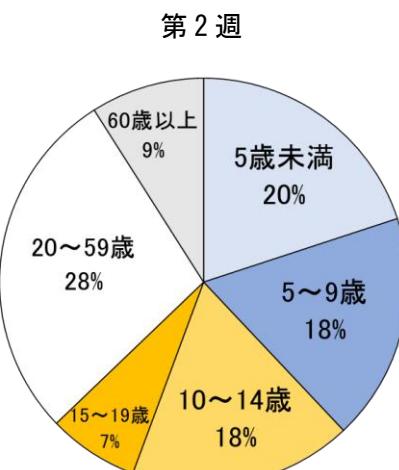
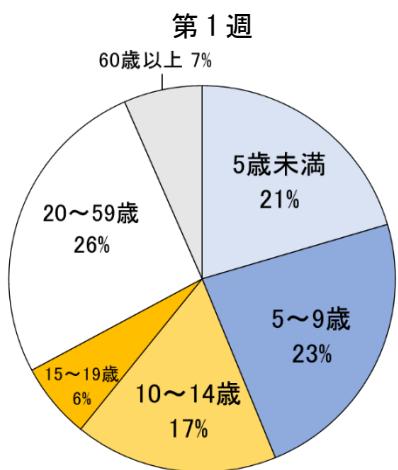
\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



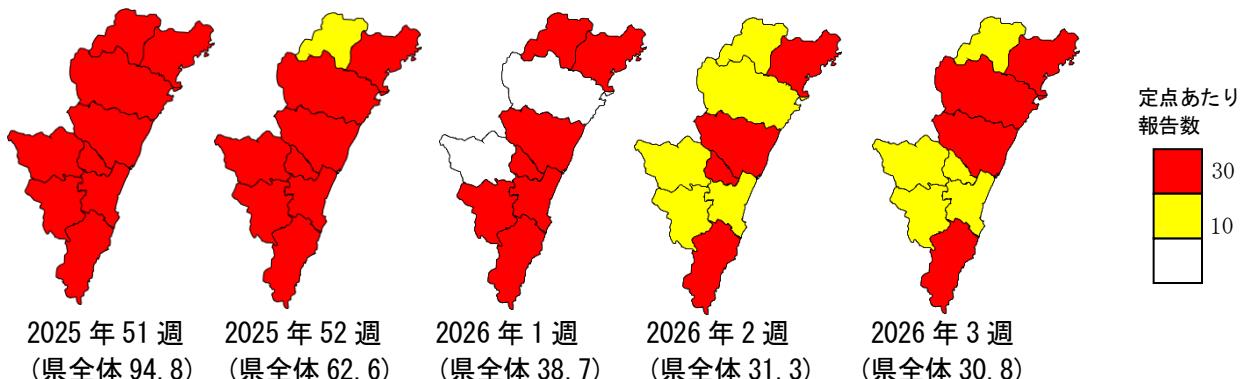
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2025年第51週～2026年第3週



### □ 全国第2週インフルエンザ発生動向

1月5日～1月11日までの1週間で39,996人(10.5)の報告があった。前週比102%とほぼ横ばいであった。宮崎県(31.3)、鹿児島県(23.5)、高知県(20.3)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5～9歳が16%、10～14歳が12%、15～19歳が8%、20～59歳が35%、60歳以上が10%であった。